

## 平成 27 年度第 2 回木更津市史編集委員会 会議録

1. 会議名 平成 27 年度第 2 回木更津市史編集委員会

2. 開催日時 平成 27 年 7 月 27 日（月）午後 2 時 45 分～3 時 30 分

3. 開催場所 木更津市役所 6 階委員会室

4. 出席者 市史編集委員会委員 出席 8 名

金子馨委員、椛山林継委員、川戸貴史委員、實形裕介委員、  
三浦茂一委員、成田篤彦委員、石井良幸委員、堀切由彦委員  
教育委員会事務局 6 名

高澤茂夫教育長、鹿間和久教育部長、今関章文化課長、  
小高幸男副主幹、中能隆副主幹、寺原進主事

5. 議題及び公開又は非公開の別

議題 委員長、副委員長の選出（公開）

報告 1 平成 27 年度第 1 回木更津市史編集委員会議事内容（公開）

報告 2 木更津市史編集部会設置及び調査協力員登録に係る事務（公開）

その他 （公開）

6. 傍聴人 なし

事務局（小高副主幹）

ただ今から第 2 回木更津市史編集委員会を開会いたします。ここからの進行は文化課の小高が務めさせていただきます。よろしくお願いたします。

本日の市史編集委員会は、池田委員から都合により欠席のご連絡がありましたのでご報告いたします。なお、会議につきましては、附属機関設置条例第 6 条第 2 項の規定により成立しております。また、会議は公開で行ないますのでご了承下さい。はじめに、高澤教育長よりごあいさつ申し上げます。

高澤教育長 今日は大変お忙しい中、前段の委嘱状並びに辞令交付式に引き続きまして、市史編集委員会にご参加いただきましてありがとうございます。

先ほどの委嘱状並びに辞令につきましては、平成 29 年 6 月までが今期の任期となっておりますので、是非、お力添え下さるようよろしくお願いいたします。

5 月に行われました第 1 回の市史編集委員会の折には、木更津市史の基本構想及び基本方針、更には編集部会の設置、並びに市史調査協力員の登録等について皆さんにご了解いただきました。また、この 9 月に行われます公開講座等につきましても、方向性等についてご審議いただきました。

今日の会議につきましては、お手元の次第にございますように先ほど新しく

委嘱状（並びに辞令）が交付されましたことから、委員長並びに副委員長の選出をお願いします。

続きまして9月に行われます公開講座の詳細等について皆様にお話できると思いますので、忌憚のないご意見をいただければありがたいと考えております。

いよいよ本格的に市史の刊行に向けてスタートをきったわけですが、具体的な部会の設置であるとか、調査協力員等について早期に立ち上げることが教育委員会としても大切であると考えていますので、ご指導いただければありがたいと考えております。どうぞ、よろしくをお願いします。

事務局（小高副主幹）

会議に入る前に資料確認をお願いいたします。（資料確認）

それでは、議事に入ります。議長は委員長が務めることとなっておりますが、これまでの市史編集委員会は本年6月30日をもって任期が終了しております。従いまして、委員長、副委員長を改めてご選出していただく必要がございます。委員長、副委員長が選出されるまでの間、議事の進行を鹿間教育部長が務めさせていただきますことといたしたいのですが、よろしければ挙手をお願いいたします。（挙手確認）

挙手全員ですので、鹿間教育部長に議事の進行をお願いいたします。

鹿間教育部長 委員長、副委員長が決まるまでの間、議長を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。委員長ならびに副委員長の選出について、改めて事務局より説明願います。

事務局（小高副主幹）

資料1ページに附属機関設置条例の条文の一部を掲載しております。第4条の規定により、委員長及び副委員長の選出は委員の互選とされております。そこで委員長1名、副委員長2名の選出をお願いするものでございます。

鹿間教育部長 事務局より条例に基づき委員長1名、副委員長2名を選出願いたいとの説明でございました。選出について委員の皆様のご意見はございませんでしょうか。

石井委員 事務局の案がございましたらお願いいただけますか。

鹿間教育部長 石井委員から事務局案をとということでしたが、事務局に伺ってよろしいでしょうか。（委員了承）

それでは事務局よろしくをお願いします。

事務局（今関文化課長）

事務局といたしましては、これまで市史編集委員会におきまして委員長にご就任いただいております金子馨委員に委員長を、また副委員長には三浦茂

一委員、成田篤彦委員の3名の方を提案させていただきます。

鹿間教育部長 事務局より委員長1名、副委員長2名の提案がございましたが、委員の皆様いかがでしょうか。異議がなければ挙手をお願いいたします。(挙手確認)

挙手多数ですので、委員長に金子馨委員、副委員長に三浦茂一委員、同じく副委員長に成田篤彦委員。以上3名をお願いいたしたいと存じます。委員の皆様にはご承認の拍手をお願いいたします。(拍手確認)

委員長、副委員長選出の件につきましては決定いたしましたので、議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

事務局(小高副主幹)

それでは委員長、副委員長が決定いたしましたので、決定した委員の方々を代表して金子委員長よりご挨拶をたまわりたいと存じます。

金子委員長 これまでの2年間、不慣れな仕事を務めさせていただきました。皆様のご支援、ご協力をいただきまして何とか2年間の任期を終わって安心していました。

私は人前で話したり意見を纏めるなど先頭に立つのは不得意ですから積極的な人に出ていただければ思っていました。どうもそういう具合ではありませんでしたので、前回と同じように務めさせていただきます。不手際があつて皆様にご迷惑をかけることも多いと思いますが、副委員長、委員、それから事務局の方々からご支援いただきながら務めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

事務局(小高副主幹)

ありがとうございました。それでは、これからの議事進行を金子委員長にお願ひいたします。

金子委員長 これより議長を務めさせていただきます。本日は2つの報告事項について事務局から提出されておりますので、報告事項について事務局から一括で説明願ひます。

事務局(小高副主幹)

2つの報告事項につきましては、寺原主事より説明させていただきます。

事務局(寺原主事)

それでは報告いたします。報告1といたしまして前回の市史編集委員会では、今年度9月5日(土)に開催いたします公開講座についてご協賛いただきました。内容につきましては、資料2ページに記載しております。

公開講座といたしまして「中世～戦国時代 江戸湾をめぐる武田氏一戦国時代の木更津と真里谷武田氏一」というタイトルで、講演会と文化財見学を予定

しております。講演会としましては真里谷武田氏と本拠地の真里谷地区を中心に発表いたします。文化財見学は真里谷城跡などを見学させていただきたいと考えています。講師は川戸委員にお願いしております。参加者は市内在住・在勤・在学（中学生以上）の方を対象といたしまして、60名を定員として行う予定となっております。当日の日程といたしましては、3ページのとおりとなっております。講演会場は、木更津市立富来田公民館で予定しております。9時半に受付開始、10時から講演を行います、概ね1時間半。それが終わりましたら文化財見学に関する注意事項の説明をいたします。その後、11時40分に昼食。場所は公民館ロビーもしくは会議室を利用する予定となっております。その後、12時35分に富来田公民館をバスで出発し、12時50分に真里谷城跡に到着。主郭などを見学する予定となっております。説明係は文化課職員を予定しております。その後、13時40分に真里谷城跡の見学を終えまして、13時50分に真如寺に到着し（真里谷武田氏関連の）墓地を見学する予定となっております。14時半に真如寺を出発して14時40分に妙泉寺に到着。お寺の外観等を見学する予定です。その後、15時半に妙泉寺を出発し、15時40分に富来田公民館に到着して解散する予定となっております。

真如寺と妙泉寺の説明につきましては調整中でありまして、追って決めていきたいと考えております。

午前の講演会は、川戸委員と打合せをして進めている状況でございます。募集案内は「広報きさらづ」8月号へ掲載する予定のほか、4ページの募集案内チラシを郷土博物館金のすずや、市内公民館、図書館で、配布する予定でございます。あわせて、市のホームページにも募集案内を掲載する予定でございます。なお募集人数につきましては市の共用バスで見学会を行いますので、バスの乗車定員数を踏まえて先着60人といたしました。

また第1回市史編集委員会の詳細につきましては、会議録として市のホームページで公開しております。会議録のご希望があれば、委員会終了後に事務局までお申してください。

続きまして報告2の「木更津市史編集部会の設置」及び「市史調査協力員の登録」にかかわる事務のについてご説明いたします。今月7月1日を施行期日として例規制定いたしました。資料の5～7ページに制定した要綱を掲載しております。これをもとに部会の設置と協力員の登録を進めてまいります。私からは、以上でございます。

金子委員長 　　ただいま事務局からご報告いただきました。最初に報告1について皆様のご

意見を伺ってまいりたいと思いますが、一つお聞きしたいのは事務局の用意した日程資料を拝見しますと、講演会の時間は1時間程度ですからこの時間内ですと余り詳しい話は無理なように感じます。せっかく川戸委員にお話をさせていただくのですから、もう少し講演会の時間を増やしてもいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

事務局（小高副主幹）

先ほど寺原から説明したとおり、今回の公開講座は午前に講演、午後には史跡などを見学します。講演会の時間については、川戸委員と調整して決めています。会場の富来田公民館は、市街地から少し内側に入った場所にございまして、JR等の公共交通機関を利用して来場する参加者を見込みますと、余り早い開始はできないと判断しました。参考として、資料3ページにJR久留里線の時刻表を掲載しております。また、午後の見学会ですが見学先の移動時間とそれぞれの見学時間を見込みますと、見学会だけで午後の時間が必要になってきます。そのため、このような日程としております。講演会の時間のほうがかなり限られておりますので、川戸委員にはかなりご無理をいっておりますが、午後の見学先はいずれも真里谷武田氏と縁のある場所にございまして、そちらを訪れることで講演会の内容を補えるのではと考え企画しております。私からは、以上でございます。

金子委員長 わかりました。川戸委員からも今度の公開講座についてどのような内容で進められるのか、ご紹介いただけますか。

川戸委員 私は、戦国期、中世後期が専門ですが、上総武田氏については直接専門に研究してきたこともないので、新しい研究成果を持ってきて話をするという趣旨ではないと思いますので、これまでいろんな方が『図説 木更津のあゆみ』を書かれた方も含めて武田氏の研究をされてきた方がいらっしゃいますので、そうした研究を、中高生と一般の方が対象ですのでなるべくわかりやすくお話しすると。そういうつもりで、これから準備したいと思います。ここにお出での方はよくご存知だと思いますが、武田氏というのは中世後期、室町時代の15世紀になって甲斐から上総にやって来た領主で、そこから戦国時代にかけて事実上上総一国のほぼ全域近くを支配する巨大な領主になって行くのですが、そうした権力がどうやって形成されていくのかということがこれまでよく研究テーマで議論されていて、それが取り分け江戸湾をめぐるような江戸湾の水運・流通ですね。こういったところとの関わり。やはり小櫃川流域を支配しているということもあって、そういったところとの関わりが非常に注目

されている領主の一つなんです。私自身は経済史的なほうが専門ですので、流通の側面で多少興味を引いていただけるようなことがお話できればと思います。

(公開講座の) 目的にもありますように、木更津にお住まいの方が少しでも木更津の歴史に興味をいただけていただけるような報告を準備したいと思っています。

金子委員長 ありがとうございます。公開講座については川戸委員のご協力を、是非お願いします。その他、公開講座について質問はございますか。

質問がなければ、報告2の「木更津市史編集部会の設置」及び「市史調査協力員の登録」にかかわる事務についてですが、報告内容を伺いますと、いよいよ具体的に市史の刊行に向けスタートすると感じます。事務局としては、部会委員の候補者などの見込みについてはどうなんですか。

事務局 (今関文化課長)

現在候補者の選定に入っているところでございます。また委員の皆様から候補者等ございましたら情報提供いただければと思っております。後ほど、情報を教えていただけるとありがたいと思いますし、適任の方をご推薦いただけると助かります。よろしくお願いします。

金子委員長 部会の候補者選定について事務局から候補者の情報をというお話しでしたが、委員の皆様の中で誰か推薦できる人がおりましたら、この委員会の後あるいは後日でも事務局のほうへよろしくお願いします。このことについて、あるいはその他質問等がありましたらお願いします。

事務局 (今関文化課長)

それぞれ委員の方々には専門分野があると思いますが、その中で一緒に自治体史の執筆のときに候補者がいましたら、是非推薦していただきたいと思っております。事務局としてもその辺の情報が中々把握できていないのでご教示いただきたいと思っております。

もう一点、9月5日の講演会と見学会については天候の関係もありますので、若干の変更もあるかもしれません。川戸委員にはその辺をご配慮いただけてと思っております。よろしくお願いします。

金子委員長 関連して、お聞きしたいことなどございますか。

本日は、委員長、副委員長の選出ということで、特に事務局のほうから議題はなく、報告を中心に進めてきましたが、事務局からは、その他として何かありますか。

事務局 (今関文化課長)

お手元に資料を博物館のほうからお配りしておりますが、郷土博物館金のすずにおきまして特別展を開催いたします。戦後 70 周年ということで各自治体でも催しがあると思いますが、木更津市でも特別展を開催いたします。内容につきましては、本日、金のすずの石井館長がお出でですので、ご説明をいただいでご覧いただければと思っております。よろしく願いいたします。

石井委員 (特別展「昭和 20 年の木更津」の説明)

金子委員長 それでは、本日の議事は以上で終了となりますので、議長の職を解かせていただきます。本日は、ご協力いただきありがとうございます。

事務局 (小高副主幹)

金子委員長ありがとうございます。以上を持ちまして、第 2 回木更津市史編集委員会を終了させていただきます。なお、次回の市史編集委員会の開催につきましては、10 月以降の開催を予定しております。日程が決まり次第、お知らせいたします。本日は、ありがとうございます。

平成 27 年 7 月 27 日

議事録署名人 木更津市史編集委員会

委員長 金子馨